

相続税の申告書(続)

修正

FD3564

※申告期限延長日 年 月 日

※申告期限延長日 年 月 日

○フリガナは、必ず記入してください。

フリガナ		財産を取得した人		財産を取得した人	
氏名		参考として記載している場合		参考として記載している場合	
個人番号又は法人番号		↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄としここから記入してください。		↓個人番号の記載に当たっては、左端を空欄としここから記入してください。	
生年月日		年 月 日 (年齢 歳)		年 月 日 (年齢 歳)	
住所 (電話番号)		〒 (- -)		〒 (- -)	
被相続人との続柄 職業					
取得原因		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与		相続・遺贈・相続時精算課税に係る贈与	
※整理番号					
課税価格の計算	取得財産の価額 (第11表③)	①		円	
	相続時精算課税適用財産の価額 (第11の2表1⑦)	②			
	債務及び葬式費用の金額 (第13表3⑦)	③			
	純資産価額 (①+②-③) (赤字のときは0)	④			
	純資産価額に加算される暦年課税分の贈与財産価額 (第14表1④)	⑤			
	課税価格 (④+⑤) (1,000円未満切捨て)	⑥			000
各人の算出税額の計算	法定相続人の数 遺産に係る基礎控除額				
	相続税の総額	⑦			
	一般の場合 (⑩の場合を除く)	⑧			
	農地等納税を受ける場合	⑩			
各人の納付・還付税額の計算	暦年課税分の贈与税額控除額 (第4表の2②)	⑫			
	配偶者の税額軽減額 (第5表①又は②)	⑬			
	⑩・⑬以外の税額控除額 (第8の8表1⑤)	⑭			
	計	⑮			
この申告書の修正前の申告納税額	差引税額 (⑨+⑩-⑬)又は(⑮+⑯-⑬) (赤字のときは0)	⑰			
	相続時精算課税分の贈与税額控除額 (第11の2表1⑧)	⑱			00
	医療法人持分税額控除額 (第8の4表2B)	⑲			
	小計 (⑰-⑱-⑲)	⑳			00
	申告納税額 (⑳)	㉑			00
	申告期限までに納付すべき税額	㉒			00
	還付される税額	㉓	△		
この申告書の修正後の申告納税額	小計	㉔			
	納税猶予税額	㉕			00
	申告納税額 (還付の場合は、頭に△を記載)	㉖			00
小計の増加額 (㉔-㉖)	㉗				
この申告により納付すべき税額又は還付される税額 (還付の場合は、頭に△を記載) ((㉔)又は(㉖)-㉗)	㉘				
申告区分	年分	グループ番号	補完番号	補完番号	
名簿番号		申告年月日	管理補完	確認	検算
			管理補完	確認	

○この申告書は機械で読み取りますので、黒ボールペンで記入してください。

※の項目は記入する必要がありません。

第1表(続) (令和5年1月分以降用)

←この申告書で提出しない人である場合(参考として記載している場合は、参考を○で囲んでください(その人の分は申告書とは取り扱いません。))

(注) ⑩欄の金額が赤字となる場合は、⑩欄の左端に△を付してください。なお、この場合で、⑩欄の金額のうち贈与税の外国税額控除額(第11の2表1⑨)があるときは②欄の金額については、「相続税の申告のしかた」を参照してください。